

K-① 動画を創ってみよう！

地域を学ぶ

地域でつながる

○

地域に還す

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
令和5年 1月14日(土) 13:00~17:00	津田市民センター	座学編…プロが教える。映像の基本を学ぼう！ ○動画講座 ・動画や写真などデジタル技術の基礎について ・参加者が撮りたい映像や撮影技法について ○練習撮影 ・さいき文化センターをアピールするための写真を撮ろう！
令和5年 1月21日(土) 13:00~17:00	津田市民センター	実践編…実際に撮ってみよう！自己PR動画制作 ○動画講座 ・動画編集作業の基礎について ○動画編集 ・アプリの説明、編集作業 ・随時休憩や追加の撮影を含む ○編集作品の講評 ・全員で確認、講師による講評



対象	小学生（保護者同伴）・中学生・高校生・大学生
経費	参加費無料
連携先	小笠原 海人さん（映像ディレクター） NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会

問合せ先

廿日市市津田市民センター

〒738-0222 廿日市市津田 4218

電話：0829-72-0336 ファクシミリ：0829-72-0466

2 講座設定の理由（学習の目的）

写真や動画投稿等，インターネット利用者の低年齢化とともに，デジタル機器が身近になってきているが，デジタルリテラシーの教育が利用者に追いついていないため，個人情報流出や SNS でのトラブル等に巻き込まれるケースも少なくない。また，高校受験や就職試験での「自己表現」の表現方法の 1 つとして「動画」が選択できるようになっているため，質の高い動画を作成するための撮影や編集の技術の習得が必要になってくると考えられる。そこで，中山間地域の子どもたちがデジタル社会の波に乗り遅れないよう，正しいデジタルリテラシーについて学び，動画を作成するテクニックを身に付けるため本講座を設定した。

3 学習目標

- ・インターネットや動画投稿を使用するときのルールについて知ろう
- ・写真や動画の撮影技法や編集方法を学ぼう
- ・自分が表現したいものをカタチにしよう

4 事前に必要な知識や準備物

- ・個人のスマートフォン（持っていない参加者には，タブレットの貸出あり）
- ・写真，楽器等，自己表現に必要な物

5 留意点

- ・撮影するときは，誰に何をどのように伝えたいのかを常に意識しながら撮影する。
- ・グリッド線を用いた対象物（者）の配置など，構図を考える。
- ・撮影した映像をよりよくするための編集方法（スマホアプリ「PowerDirector」使用）を知る。
- ・インターネット投稿における個人情報流出のリスク等，情報リテラシーを高める。

6 成果

- ・参加者一人一人が，自分の興味のあるものや打ち込んでいるものなどを素材として活用し，自己表現のための動画を完成させた。
- ・発表時には，実際に撮影した参加者がどこに気を付けたかや何を意識して撮影したかを中心に説明した。講師からは，それぞれの動画のよい点や工夫している点，よりよくなるためのアドバイスを受け，参加者もその出来栄と評価に満足していた。

7 課題

- ・対象は小学生から大学生まで，定員 10 名としていたが，座学編の参加者は，小学生 1 名と中学 2 年生 6 名の計 7 名で，実践編の参加者は，小学生 1 名，中学生 3 名の計 4 名であり，参加者が限定された。
- ・デジタル技術について支援者が限られるため，単発事業になってしまっている。

8 今後に向けて

- ・今の時代に合った，対象世代に必要な知識や情報，技術が得られる内容の講座であり，多くの申し込みを期待したが，実際には定員には満たなかった。地域住民や学校のニーズに合わせた開催時期や会場の選定について検討する必要がある。
- ・写真や動画の撮影は，大人や高齢者にも必要な技術であるため，内容を精査しながら今後も継続して開催していきたい。